

# 県営漁場整備事業 舳倉島地区

## 評価結果

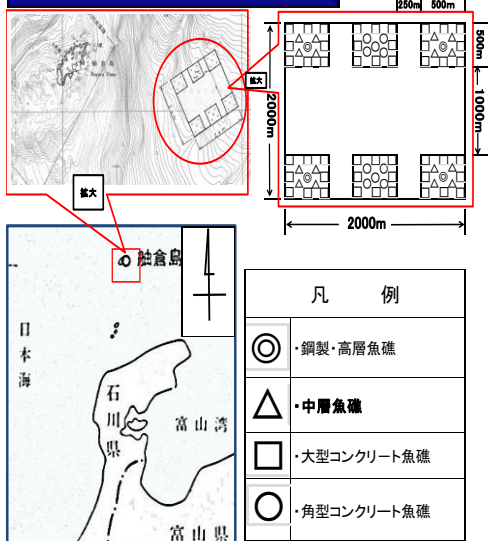
漁場整備事業の実施により、人工魚礁を造成した結果、今まで通過していた回遊魚等が鰓集(いしゅう)・滞留(集めて留める)したことから、漁獲量が増大した。

また、漁場が拡大したことにより操業場所の選択肢が増え、計画的に操業ができるようになった。

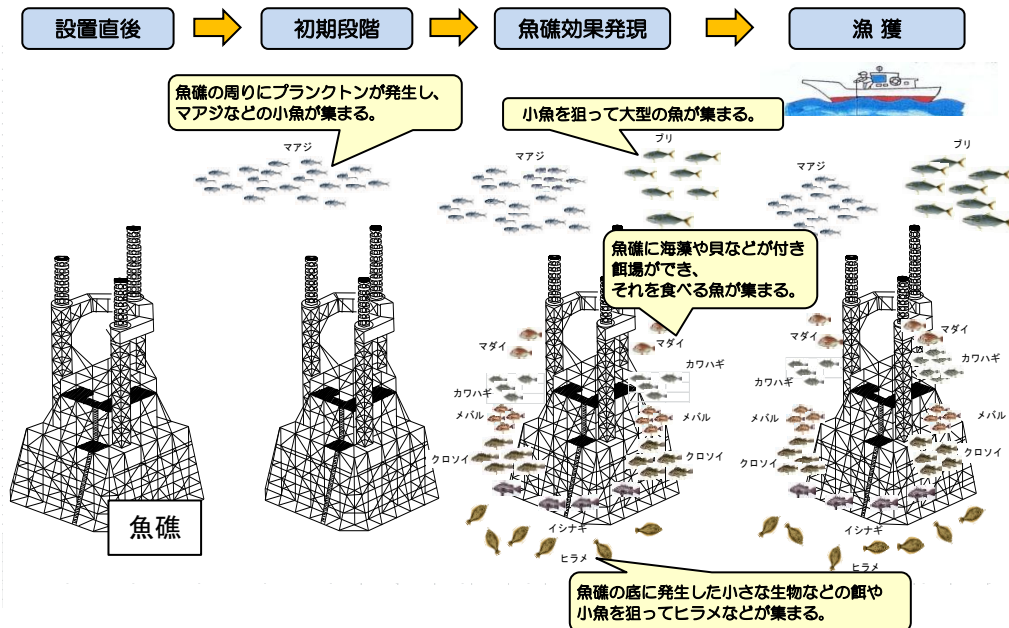
## 地区概要

- 箇所名：石川県輪島市舳倉島地先
- 工事内容：漁場整備 A=676ha (55,636空m3)
- 総事業費：1,051百万円
- 事業期間：平成13年度～平成17年度

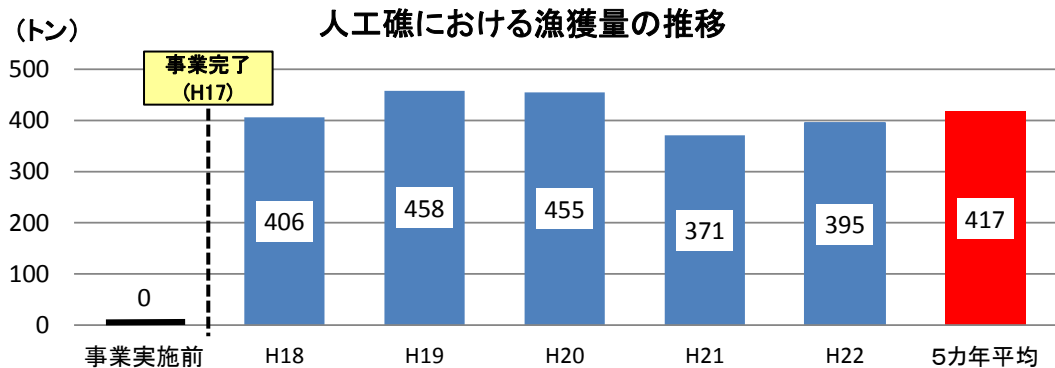
## 位置図・設置概要図



## 魚礁に集まる魚のイメージ



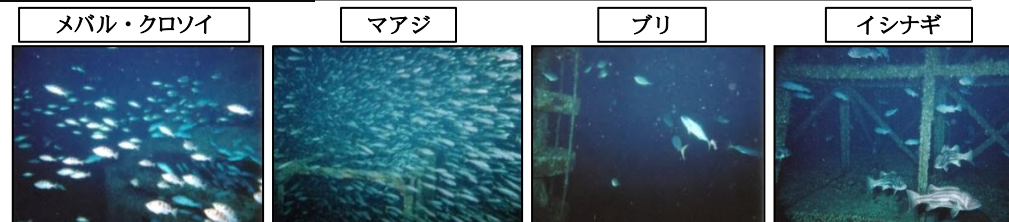
## 漁獲量の増大



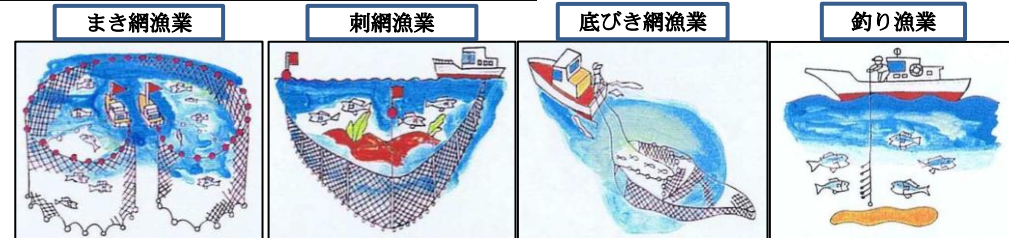
今まで漁場として利用されていなかった場所に人工礁を整備することにより、新たな漁場から平均417トン(年間)の魚を漁獲することができた。

## 写真で見る事業効果

舳倉島人工魚礁水中撮影(H16)：魚礁に集まった魚



## 魚礁を利用する漁業種類



## 今後の取り組み

事業実施により、人工礁漁場において多くの魚が漁獲できるようになったところであり、今後、継続的に漁場を利用するために、漁業者間で決めた漁場を利用する順番を遵守し、また漁網が魚礁に引掛からないように努める。

## 計画的な操業

聞き取りにおける漁業者の意見

- 従来漁場に加えて人工礁漁場が出来たことにより、操業場所の選択肢が増えた。
- 漁場の探索時間が短縮されたため、燃油の節約が出来た。
- 場所がわかる人工礁付近で操業する頻度が高くなった。
- 魚礁の周りには多くの魚が集まってくる。特に根付き魚(メバル類・クロソイ)が集まるようになった。
- 背の高い魚礁では、回遊魚(プリ類・マグロ)が集まっている。